プレセミナー3

質的研究を初めて実施するために必要な知識

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学

河野　文子

質的研究法は、医療やヘルスケアに関連する様々な状況や課題について、患者やその家族、または医療者やコミュニティーのステークホルダー等、様々な方を対象として、当事者の経験や認識を、インタビューなどの方法を使って、深く洞察できる手法です。

研究者が質的研究の手法を使って、研究を初めて実施するためには、哲学（認識論、存在論）、研究者の主観をどう自認するか（リフレクシビティー）、インタビューを実施する方法、分析（コーディング）を実施する方法、論文を執筆する際の考え方など、さまざまな事柄について理解し、実践していく力を身に着ける必要があります。

本プレセミナーでは、質的研究をこれから初めて実施したいと考える研究者や医療関係者に向けて、一からわかりやすく、知識や考え方を伝授する内容となっています。ぜひご参加下さい。